



古川利意の 絵日記展

——くらしを描き、のこす。

2025

4月29日 火・祝

—11月30日 日

開館日/土・日・祝 開館時間/10:00-17:00

会場/古川利意記念美術館「農とくらし」

古川利意記念美術館

農とくらし



「すでに消えてしまったものでも、
思い出して絵で表現することができる。
上手下手ではなく、資料として残したい
という思いが絵を描かせた」*

古川利意はそう語り、晩年、日々の出来事や土地に息づく風習、
人々との交流を、絵とことばによって丁寧に描き記しました。

そこに描かれているのは、特別な光景ではありません。

祭りや峠道、畑の作業、仲間たちとのやりとり、ふとした日常の一場面。

けれどその一枚一枚には、土地を見つめ続けてきた者だけが描ける、まなざしの深さと温かさが宿っています。

その筆跡は、失われゆくものを見送るようでいて、同時に、たしかな記憶の手紙を、次の誰かへと渡す営みでもあるのです。

本展では、2006年から2012年にかけて描かれた絵日記約350点の中から48点を「会津の文化や風習」「文化財調査と保護活動」「峠歩き」「古川さんと身近な人々」「日々の暮らし」という5つの主題で紹介します。

絵日記に残されたくらしや生き方を通して、会津という土地、そして「描くこと」にかけた古川さんの思いが
そっと語りかけてきます。

*「古川利意年賀版画集」出版：ふくしま本の森 2019年より引用

古川利意の 絵日記展



——くらしを描き、のこす。

2025 4月29日(火)祝 — 11月30日(日)
開館日/土・日・祝 開館時間/10:00-17:00

ふるかわ としい

古川 利意 (作家・郷土史家, 1924-2020)

1924 年(大正13年)、福島県会津坂下町の生まれ。その生涯にわたって

同地に暮らし、小学校・中学校・高等学校の教師を歴任しました。退職後は、遺跡の調査発掘町史編纂事業、文化財の保護などに携わり、瑞宝双光章・地域文化功労賞をはじめとする数々の賞を受章・受賞されています。また、その傍ら、講演会や全国紙への投書などのほか、次第になくなりつつある会津地域の風物を絵や文章に記し続け、郷土の記憶を継承するために尽力しました。最晩年にいたるまで精力的に活動을続け、2020年に95歳で逝去されました。



古川利意記念美術館「農とくらし」



〒969-4734

福島県耶麻郡西会津町奥川大字飯里字里道2246

TEL | 080-6019-0384 (代表 小野木麗子)

URL | <https://ftmg.localinfo.jp/>

Instagram | @noutokurashi

開館日 | 土日祝日 開館時間 | 10:00~17:00

茶房 石竹花



営業日 | 土日祝日 (4月下旬~11月下旬)

営業時間 | 11:00-16:00

ネパールカレーとコーヒーが自慢の茶房です。
美術館と合わせて是非ご利用ください。

アクセス



交通 | 西会津ICから約25分

駐車場 | 有り「茶房 石竹花」の駐車場を
ご利用ください。



※混雑緩和のため来館する際は事前にご連絡
いただけると幸いです。※平日ご来館希望の場
合はお電話でお問い合わせ下さい。※豪雪地
域のため冬季は休館します。(12月~4月下旬)

企画: 古川利意記念館事業実行委員会
キュレーション: 西尾 佳那
会場構成: 小泉 立 (週末スタジオ)

デザイン: 星 蒼来

展示協力: 新井 穂子、小野木 麗子
鈴木 一生、山崎 愛華

助成: 西会津町活力あるまちづくり支援事業

